

令和3年度 道徳授業地区公開講座 6年1組 参観・協議資料

12月4日(土)3校時	会場：6年1組教室
【主題名・教材名】 同じ立場になって 「高とびの選手はだれがなる」	【内容の項目】 B 主として人との関わりに関すること 「相互理解・寛容」
【授業のねらいと概要、授業者の願い】 今日の授業のねらいは、「同じ立場にたって理解しあうことの大切さについて深く考え、相手の立場に立って考えようとする態度を養う」ことです。自分の考えを伝えることで誤解が解けたり相手を尊重したりすることができることに気付かせたいです。 市内陸上競技大会の高跳びの代表に選ばれた美奈と、優勝候補と言われながらも選ばれなかった裕子は、このことをきっかけに1か月間、言葉を交わすことがないまま大会当日を迎えます。二人の主人公の視点から、相手に対する思いの変化を捉えていきます。 教材文を読み、伝え合うことの大切さについて深く考えるとともに、お互いを理解するためにどう行動するとよいか自分なりに考えることができるように指導していきます。	

令和3年度 道徳授業地区公開講座 6年2組 参観・協議資料

12月4日(土)3校時	会場：6年2組教室
【主題名・教材名】 相手を許す心 「銀のしょく台」	【内容の項目】 B 主として人との関わりに関すること 「相互理解・寛容」
【授業のねらいと概要、授業者の願い】 今日の授業のねらいは、「司教の行為を通して、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重し、相手の過ちを受け止め、適切に対処できる心情を育てる」ことです。 刑務所からでたジャン・バルジャンを、銀の食器でもてなしたミリエル司教。食器を盗んで逃げ、憲兵に捕まり司教の前に引き出されたジャンに銀の燭台も差し出します。司教の行為から「相手の許す心」について考えを深め、ジャンの心に寄り添おうとする司教の思いに気付かせたいです。 この教材を通して、自分と異なる意見や立場を尊重し、相手の過ちも広い心で受け止めて適切に対処できる心情を育てていきたいと思えます。	